

せん こう じ
泉光寺



泉光寺山門



山門仁王像前にぶらさがるわらじ

木造観世音菩薩立像

奈良時代の僧である行基が、観音経を唱えながら三日三晩寝ずに彫り上たと言い伝えがあり、町指定文化財である。



木造観世音菩薩立像

こん ほん じ
根本寺



両界大日如来坐像



根本寺山門

両界大日如来坐像

押戸の根本寺前の集会所に安置されていた。この種の両界大日如来坐像は作例が少なく貴重な仏像で町指定文化財である。

庚申塔

庚申の夜、身体の中にすんでいるという三匹の虫が帝釈天に悪い知らせをするので、その夜は虫がでないように徹夜をする“おひまち”という習わしがある。



鎌倉街道にある庚申塔

泉光寺山門仁王像

両脇には町指定文化財の仁王像が並んでいることから、泉光寺は「お仁王様」の愛称で親しまれている。

仁王像が納められている格子にはわらじがたくさんぶらさがっている。旅の安全を祈った旅人や農民が足が痛くならないようにと願って借りていき、倍にして返したわらじである。



利根町の鎌倉街道地図



今も残る700mの鎌倉街道



であいっばい ふれあいっばい
鎌倉街道でお世話になったみなさん

- ・鎌倉街道探検隊長 山羽孝先生
(ホームページに「利根町の鎌倉街道」掲載、埼玉県川越市)
- ・利根町歴史の語り部 宮本和也先生
(利根町民俗資料館 利根町福木)
- ・野鳥情報局 中山正夫先生
(利根町羽中)
- ・巨木調査隊 渡辺剛男先生と利根タブノキ会

その他、鎌倉街道の整備にかかわった「水と緑の環境プロジェクトチーム」やまちづくりを考える「100人スクール」のみなさん、利根町教育委員会など、多くの方々にご協力をいただきました。

発行者 平成15年度 文間小6年生

平成15年度文間小学校6年生の児童17名

中村智子(担任)

お問い合わせ 利根町立文間小学校 ☎ 0297-68-2024

利根町探検

鎌倉街道



幻の道 — 文間地区に残る700メートル —

鎌倉街道は、今から800年ほど前、源頼朝が全国の武士を結集させるためにつくらせた道です。その鎌倉街道が、利根町にもあります。近くの泉光寺や根本寺には、鎌倉時代の仏像が数多く残されています。

また、開発により今では700メートルしか残っていませんが、鎌倉街道がある里山はいろいろな野鳥や植物や巨木の宝庫です。豊かな自然にあふれた古の道を多くの人に知らせ、みんなに親しんでもらおうとこのパンフレットをつくりました。



鎌倉街道にある塚の上に立つスタジイの巨木

鎌倉街道で何だろう！

「鎌倉街道」というからには昔の街道であることは誰でも想像がつかます。どんな道であったのかよくわからなくても、一度は耳にしたことがある街道名ではないでしょうか。

その名のとおり「鎌倉」へとつながっていた街道なのですが、実際に「鎌倉街道」と呼ばれるようになったのは江戸時代からなのです。江戸時代の人たちが武士の都があった鎌倉へとめざした昔の道を偲んでそう呼ぶようになったといわれています。その江戸時代の人たちでさえ昔の道と捉え、わすれられていたものから「幻の街道」などともいわれています。

鎌倉街道は源頼朝が鎌倉幕府を開いてから戦国時代の小田原北条氏の時代までの道を指しますが、その当時の中世と呼ばれる時代には、関東地方に三つの主要幹線路があったといい、西から「上道(かみのみち)」「中道(なかのみち)」「下道(しものみち)」と呼ばれていたようです。

利根町を通る鎌倉街道は「下道」の可能性が考えられますが、学術的な調査がおこなわれたことはありませんので具体的なことはわかりません。しかし、鎌倉街道は文化庁選定の「歴史の道百選」に選ばれているところが多く歴史遺産としての価値が認められています。その鎌倉街道が利根町にも残っていることは町民の誇りであり「宝」でもあると思います。

また、現在鎌倉街道が残る森は自然が大変豊かで、この貴重な利根町の自然を後世まで伝えていきたいものです。

